

第1回SGH企画講演会

名古屋外国語大学学長の亀山郁夫先生の講演を1・2年生が聴講しました。

テーマ：「ポストヒューマン時代を強く生きよ」

日時：平成27年7月7日（火） 第6限～第7限

対象：1・2年生全員（555名）

会場：関高校体育館

ポストヒューマン時代、つまり人間「後」の時代に求められることを具体的にご教示いただきました。「英語ともう一つの外国語、教養力、共感性。謙虚に反省し原点に返れ、総合的な知性こそ必要とされること」を熱くお話いただきました。

講演後には積極的に質問が飛び出し、亀山先生がロシア語を選ばれた理由やロシア語での先生の自己紹介を教えてくださいました。先生のプロポーズの言葉も教えてください、「現代日本を代表する知の巨人」の教養力を体感させていただきました。

【生徒の感想】

■今日の講演を聞いて、日本人は世界から評価されていると思っていたら、今劣化してきていて、私たちが頑張らないと世界からの評価が下がってしまう危機にあると分かりました。そして教養の大切さ、**教養とは知識や常識があることではなく、人間としての深みともなって初めて教養のある人間として評価される**ことを知りました。

これからは自らの意見を発信できて、人の意見を正しく理解でき教養のある人が必要とされる時代を生きていかなければならないことがよく分かりました。
(2年生)

■今日の亀山先生の話聞いて「賢い」のは「知識」だけじゃないのだと気付かされました。その根源であるのは「**英語（グローバル化に対応する）、もう一つの外国語、教養力（世界との共有）、共感性**」があることが分かりました。また、それに迫っていくことで人間としての深み、温かみを手に入れられると分かりました。今まで私は「出来る人」になるには勉強だけしていればいいものだと思っていました。ですが、いろいろな分野を知っている人が世の中で通じることのできる人であると知らされました。だから、これからは幅広い分野で活躍していけるようになりたいです。
(2年生)

■今日の亀山先生の講演会は、聞いていてとても面白かったです。私は日々学習している中で、ただただ勉強をして他に何もしないのは正直言ってつまらないし、もっと他のことにも興味を持ってみたいと思っています。話の中で、もっと人間は遊ぶべきだと言われましたが、私もそれは必要なことだと思います。1つことだけ、ただ勉強、ただ仕事、毎日同じことを機械的にこなすのではなく、それをいかに面白くするかを考えていくことは、とっても大切だと思います。話の中で**グローバルな人材とは、ただ英語を流暢に話す人ではなく、話の中身が濃く、相手に考えをつたえたり、聞いて自分のものにしたり、1人の人間としての自分を確立していくこと**かなあと感じました。
(1年生)

